石櫻新聞

発行所 盛岡市仁王田圃 岩手高等学校 岩手中学校 出版委員会新聞部
責任者 小原紀彰
印刷所 岩手日報社

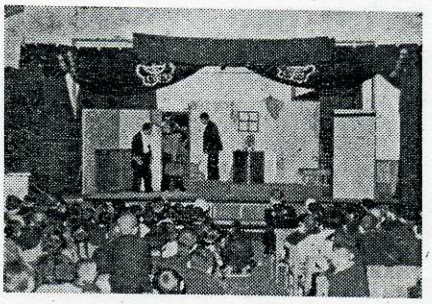
行事予定

▽高校入試　3月3・4日
▽期末考査　3月9〜15日
▽終業式　3月15日
▽全校通信簿　3月22日
▽中学卒業式　3月25日

予餞会 なごやかに送別

紙吹き競技に大爆笑 この日だけは試験忘れる

今年度予餞会は、二月三日本校講堂で開かれた。まず校長先生の訓辞、PTA会長の新卒業生に激励のお話しがあり、次いで新卒業生に対する在高生代表、里見一栄君の挨拶があり余興に入った。余興は、卒業生の出るゲーム、紙吹き競争で最高潮になり、日頃神妙な顔の新卒業生達もこの日だけは入試、就職試験勉強の事もわすれ下級生と共に楽しく過ごした。



〔写真は予餞会風景〕

高校二年が中心となり、予餞会の準備を行ったが、今年は新形式で行なおうと協議したとみえ、例年出るはずのキャラメルが出なかったのは寂しかったと、生徒からの声が聞かれた。それでもブラスバンド部の『ボゲイ大佐』『美しき日本』の演奏に、その不満もいつのまにか消えていた。続いて三丙の大集団（四十人）の合唱『ローレライ』。高二米内沢君の独唱『伊豆の佐太郎傘』同じく及川君の『恋の片道切符』などの元気一杯の熱演。出場するものも、準備する者もベストをつくして三年を送ろうとし、三年生もそれに答えて『紙吹き競争』『ゴルフゲーム』に出場した。『紙吹き競争』には満場爆笑のウズ、紙が針金の上をよく動かず、あせって口をタコのようにとんがらかし熱演する人、要領が良く二回位いで軽く決勝点に着く人といろとりどりで普段気むずかしい人が口をとがらせているのをみると思わず笑が口に出る。次のゲーム『ゴルフ』は有閑階級がするゴルフとは違って大衆のためのゲームで、大きなバスケットボールを、バットでなぐり、目指すゴールに入れるもの。このゲームは一回勝負なので、慎重に構えて、打つけれど、ボールは非情なもので、目標地以外に転がる。そのゲームにも声、拍手、喝采が出演者に対し送られた。そして三年の飛入りが始まると、最初に出場したのは、ギター片手にトリオロス・パンチョス気どりの『石桜イカレターズ』の面々。『ある恋の物語』『古城の月』『情熱の花』とアマ離れした演奏に、満場シーンとして聞きほれていた。ついで高二石田君との合奏『佐渡おけさ』『炭抗節』とで最高潮、その他高三小笠原君の『外山節』のうちに終った。

論説 「放談会」より

今日はめでたい日である。高三諸兄が揃って卒業される門出の日だ。諸兄よ、石桜精神を胸に、すこやかに旅立たれんことを…。

さて月並な祝辞は抜くとして、高三サヨナラ石桜会（関係記事二面）からネタを拝借とゆく。まず校旗問題、校旗が持ち出されるのは入学式と卒業式ぐらいのもので一般の者には大したなじみもなく今まであまり問題にならなかったしかし高校が発足して、今年は十二回目の卒業式を迎えたわけだが依然として旧中学時代の校旗とはどんなものだろうか、高校の徽章はすでに決まっているのだし、旗屋に頼めば簡単に出来上ってくるものではないだろうか、今年の卒業生は、記念品の候補として校旗をあげたが採用にならなかった由なくても困らぬものかも知らぬがあっても困るものでもあるまい。いや必要なればこそ旧中学時代のでも持ち出すのではないか。象徴満用論も成立するとは思うが、国家に国旗ある如く、学校に校旗をとは自然な感情ではなかろうか。

次に校歌を改めてはとの論だがこれはもっとはっきりした理由でないとついてゆけない気がする。座談会では高校生が、『わが中学の同じ窓』ではピンとこないという御意見であったが、その前にある『大沢川原もとをおく…』に続く『我が中学の…』であるから学校の歴史をうたいあげていることで、別に不思議はないと思われるがどんなものだろうか、土井晩翠作詞、山田耕作作曲になる我が校歌だが、中学生がうたおうと高校生がうたおうとなんら不自然さは感じられない。

修学旅行に行った先輩達が、旅先で歌を所望され、校歌を合唱したら、実にいい校歌だ、もう一ぺんうたってくれ、とアンコールがかかったとも聞いている。

校旗の考え方でゆけば、中学には中学の校歌を、高校には高校の校歌を、となりそうだが、そこまでゆく必要があるかどうか、諸君もとくとお考え願いたい。

次に礼儀についてであるが、下級生の欠礼は上級生の可愛がりようが足りないからではないかとの反省には頭を下げたい、だが卒直なところ上級生のこんな気持など一こうに通じないらしい者の存在は嘆かわしい限りだ、上級生に対する礼儀、あるいは先生に対する礼儀は、春先きの応援歌練習時には一応よく行われるが、応援歌練習もなくすると、とたんに上級生もなし、先生にもなし、と変わるのは情けない、礼儀は一時的な何々週間式で終るものではない、一生必要なものだ、授業を受ける態度にも同じようなことが云えそうだ、学校側でも単なる放談とみなさないで、取り上ぐべきは取り上げていただきたい。（Ｉ）

石桜会各委員会 事務引継ぎ終る

石桜会事務引継ぎは十二月二十四日本校講堂で行われ、四月までの新役員が左記の通り決定した。カッコ内は旧役員

総務二D里見一栄（小原実比等）
生活二D竹内　弘（坂東　守）
学習二D小刈米淳一（南沢満雄）
出版二D小原紀彰（佐々木保五郎）
図書二D坂本弘（沼田　英雄）
文化二C米内沢利男（佐々木重男）
体育二D葛原宏治（田中紀平）

この日新石桜会会長の里見君が生徒会活動の低調さを指適し、その他下級生の協力を要望する事を語った。新図書、生活、学習等の委員長も今後の目的と就任のあいさつを述べていた。

石桜会功労賞 佐々木保五郎君 団体ホッケー部 に決まる

去る二月十七日の合同会議に於いて、各ホームルーム及び、各委員会、運動各部から推選された候補者の中から出版委員、アイスホッケー部が石桜会功労賞候補に推選され、十九日の職員会議で審議の結果次の通りに決定した。

第四十二号　佐々木保五郎（3B）
団体第三号　ホッケー部

なお、佐々木君は出版委員長として、石桜新聞作製及び会誌〝石桜〟の発刊に多大な業績を治めた。又、アイスホッケー部は、全国高校インターハイ四位、国民体育大会には本県代表として多数を送り準優勝した。

新学期より授業料値上

全国的傾向であるが、私立学校は一斉に授業料を値上する事が決定した。本校もその例にもれず、新学期より授業料が月額千七百円になる。私立学校は人件費をはじめ、施設、設備費いっさいを授業料でまかなうため仕方がないとしても、月額千七百円は、我々に大きな負担となるだろう。

なお学校側では、この値上によって、教職員の待遇改善や施設、設備の充実に力を入れると語っている。

体育館実現か

さる一月十一日、母校校長室において同窓会理事会が開かれ、組織網の強化、三十五周年記念事業対策等が協議された。その試案によれば記念業業資金として同窓生より、四百万円の募財をする由。いずれ新年度を期して計画が具体化するはずであるが、資金は生徒会用の施設などに廻る公算が強い。

本年度最後の模疑試験

本年度第二回校内高校模擬試験の結果が発表された。参加者は高三全員、高一、二は当試験の行なわれる前に実施されたATの結果、平均点が一定の点数に達した者に対してのみ受験資格が与えられた。成績は次の通り。

▽総合賞
二D　里見　一栄（七五・二点）
三A　南沢　満雄（七二・四点）

▽科目賞
国語三A南沢　満雄　一六五点
二D小原　紀彰　一六二点
二D里見　一栄　一六一点

○社会科社会
二D里見　一栄　八四点
日本史　該当者なし
世界史　右同じ
人文地理　三B吉田　恒夫　八四点

○数学I
代数三A川村　伯光　一〇〇点
〃　佐藤　正明　九八点
〃　伊藤　万吉　九五点
〃　南沢　満雄　九五点
〃　大島　年輝　九〇点
二D三田　俊夫　八五点
幾何二D里見　一栄　八〇点

○数学II
三A川村　伯光　一〇〇点
〃　伊藤　万吉　一〇〇点
〃　南沢　満雄　一〇〇点
〃　佐藤　正明　九〇点
〃　佐々木重雄　八〇点

○数学III　該当者なし

○理科物理　右同じ
化学三A伊藤　万吉　八六点
二D吉田　明夫　八〇点
生物二D里見　一栄　九二点
〃　小刈米淳一　八〇点
地学三B若木　剛一　八〇点

○英語　該当者なし

校外短信

▽他校生はどう見るか

某月某日、二年の某クラスで市内の某高校との合同ホーム・ルームが行なわれた。その代表会議の一部。『東海生をどう思うか』という質問に、某女学生は『広小路などを、これが東海生かと思うようなかっこうをして歩いているのを見るとゾッとする。しかし電車の中で勉強している姿をみるとホレボレする』と言ったという。皆さんよく聞いて下さいヨ。（東海高校新聞）

▽いいわけ異聞

大部遅刻者がふえてきた。『気候の加減で、どうも近頃は……』とばかりはいいきれない。某月某日プールの前で一人の遅刻者をとらえて理由をきくと『朝寝坊です。八時過ぎでないと起られないから……』『家は遠いのですか』『はあ遠いですけど、徒歩で五分もあれば充分です』二、三の遅刻者が多い事は、心のたるみに他ならない。（岐阜高校新聞）

▽現象

三年生は出て行ってしまうから用はない（?）。二年は今度シボル側に。一年生は来年もまた応援歌練習がある。新役員選挙で一年生の不信任投票が一番多かったとのこと。（長野高校新聞）

寄贈三点

その一　去る二月四日、森田真弘氏より本校図書館に左記の本が寄贈された。本名は次の通り。

▽生命の実相（十三巻）倫理篇上　谷口雅春著　▽生命の実相（十四巻）倫理篇下、教育篇　谷口雅春著　▽青年の書　谷口雅春著　▽第二青年の書　谷口雅春著　▽我ら日本人として　谷口雅春著　▽限りなく日本を愛す　谷口雅春著　▽千代田城　藤懸準二著

なお、森田氏は『生徒さんたちがこの本を読んで、関心をもってもらいたい』と語っていた。

その二　さきにブリタニカ百科辞典を寄贈された本校奨学会評議員三田義清（理事長長男）氏よりこの程、渡欧化学工業ユネジメント・テクニーク・スペシャリスト視察団（一九五八年十月三十一日〜十二月十二日）員の一人としてヨーロッパ各国の化学工業を視察し、その報告書『ヨーロッパの化学工業』を大半執筆なされ寄贈なされました。

その三　一月二十五日砂五田源六氏（旧岩中十回卒業生）より高級体重計（一〇〇キロ）が寄贈された。

県下高校 理科研究発表会

去る一月二十九日（金）高校会館に於いて県下高校理科研究発表会が参加校十六校（全題数三十二題）のもので行なわれ、本校からは生物部と地学部が参加した。生物部は『鮮類植物について』でこの研究は四年前からのもので採集物は現在まで六百五十（未整理を除く）四十三科、四百余種を採集している。今回は、早池峰山麓を中心として行なわれたもの。

地学部は『旧盛岡市辺の蛇紋岩』について高二の熱田君が発表した。

演劇・音楽発表会

去る一月三十一日、県公会堂第一ホールで高演連主催の市内高校演劇合同発表会が行われた。本校演劇部員も『雪女風土記』『常念岳を雲よぎり行く』の二つに多数参加した。

又、高音連主催のクリスマスコンサートに、本校音楽部も参加しNHK唱歌コンクール市内予選に初めて男声合唱で通過した美しい合唱を聞かせた。

カモシカの骨発見

既に〝岩手高校生物部のお手柄〟として岩手日報紙上に載った『カモシカの骨発見』は生物部の熱心な手で発見したもの。これまで生物部は全部を上げて、鮮類の研究をしており浅岸方面に於いて、カモシカの骨が偶然発見されたものである。カモシカは天然記念物で高山地帯に、生息するものであるが平地で発見されたので興味深い。

なお、このカモシカの骨は完全な原形のままを保っておるので、本校生物部員が復製に成功した。

石割桜

二面の座談会に載せ損なったがまだ重用な記事があった。というのは久しい前からであるが、本校の委員会制が生徒会活動にいかに弊害であるかが明らかになっていたのであるが今回の卒業生もこの点を指摘していた。

今の生徒会規約は昭和二十八年に改められて以後現在まで受け継がれている。そこで毎年生徒会の執行者が委員会制の欠点によりその活動が十分に発揮出来なかったといい残している。

具体的な例を掲げて見るならば当出版委員会も入

の仕事はその名の通り書籍を出版することであるが、その仕事に携わる者が非常に高度の技術が無ければいけないのである。それが一年間ではとてもその技術が覚えられるものではない。しかも真に各クラスが内選に適した人を委員に選ぶとしたら、それはもちろん委員会制の長所が生かされたと見るが、現状のような不まじめな態度で選んだら、その委員は残念ながら当委員会には必要でないのである。

出版委員会だけでなくその他の委員会もきっとこの種の事で悩んでいることと思う。春が来ると同時に新年度が初まる。今年度もまた昨年度と同じ過ちをしたといわれるようにはなりたくないものだ。

古書籍、雑誌の専門店
盛岡市紙町（上の橋際）
東光社書店

祝御卒業
在校中は何かと御引立有難う御座いました
御進学の方も御就職の方も引続き体育堂を御ひいき御願います
スポーツの店
藤沢体育堂
材木町 TEL 2432

帽子専門の店
帽子・襟章・各種取揃え
お待ち致しております
三栄帽子店
盛岡市仁王通り
電話 5342番

第9回卒業生座談会
さようなら石桜会

"友よ人の目にも見ていざ問上の道路まん"に終る校歌が懐かしく感じられる卒業を前に、新聞部では去る二月六日卒業生有志九名を招いて、在学中の感想より、下級生に残していきたい事、学校側に望んで優きたい事などを語ってもらった。出席者は皆一群も二群もある人達で多いに座を盛りあがいたのだが、以下は下級生にとって参考になると思う。それでは話題を追ってみよう。

座談会出席者

和山　宣夫	副石桜会会長
南沢　満雄	学習委員長
佐々木重男	文化委員長
坂東　守	生活委員長
佐々木保五郎	出版委員長
沼田　英雄	図書委員長
田中　紀平	体育委員長
鏡　英夫	副出版委員長
吉田　正範	書　道
里見　一栄	新石桜会会長
小原紀彰（司会）	新出版委員長

続けたい他校訪問
失われつつある礼議

司会　今日で試験も終り、いよいよ卒業ですが。

一同　……（感慨無量の面もち）

司会　ではいろいろ下級生に言って優きたい事、又残上級生である事を振り返って、その感想などを卒直に述べていただきたいと思います。

B　大きな印象は仙台一高、東北学院高を訪ねた事だな。

A　ウン、あれはよかったなあ。

E　確かに参考になるもんな。

G　来年の幹部はやはり続けた方がいいヨ。

J　でも我々下級生は、身近に成果を感じませんが。

D　それは熱行者側が無かった、認めるヨ。

F　デモ、忙しいからナ。なにせ三当四落になったろう。（一同笑）

F　しかし、他校を訪問するという事は、世間しらずの我々には大した薬だ。哲発される。

A　ウン、そうは言える。なにせウチの生徒は行儀は悪いし道徳はなっていないからな。

B　変な所で嗅くなって、いざという時は弱いからナ。

一同　ウンダ、ウンダ。

E　中高一貫制という学校の方針にもよるナ。

D　ウン、中学の時からの習慣がマンネリ化するからナ。

C　中学は自宅住なので、高校に頼っているだろう。それに高校に入る時、試験がないだろうよけいノンビリするんだな、そしてまかせっぱなしだモンナ。

C　ウン、他の中学生はものすごく勉強するんだ。高校の俺はもっとしなければならないと、かえって励みになったりするくらいだ。（一同笑）

B　とにかく本校の中学生は、自主制がなりないヨ。

C　それに礼儀がなってないナ。応援歌練習の頃ちょっと緊張するだけで、あとは先生方にも平気で欠礼してる。

A　ウン、そうだな、下級生から挨拶されても答礼しないようでは自然礼もなくなるサ。

B　欠礼といえば上級生も欠礼してるようだな、下級生から挨拶されても答礼しないようでは自然礼もなくなるサ。

E　お互にあっさり挨拶ができたら気持がよいと思うんだが。

F　可愛がりようがたりないと礼もしなくなってくるんじゃないかな。

A　そんなもんかもしれんな。だってだらけたまっぱつには愛情もわからんじゃないかな。

F　それをあえて愛するのが愛情ってもんじゃないかな。

B　又、哲学がはじまったな（笑）

石桜新聞にもの申す
企画に新鮮味を

司会　ところで能力別編成についての感想をひとつ。

F　能力に応じた勉強という趣旨には賛成だナ。しかし一年、一年のようなホームルームがすでに能力別というのには問題もありそうだな。

G　学校側はヨ、全分できるだけ沢山有名校に入れて、学校の体面を保とうという事から行なったと思うが。

（ここで沼田君参席）

デモナ、生徒間の感情の対立というものを計算に入れたカナ

G　ウン、そうは問題だな。

B　いいクラスに行く者は幸運だけれど、外のクラスに行ったものは劣等感からくるひがみというものを持つんじゃないかな。

一同　そりゃそうだな。

A　クラスが対立しているというのは重大な問題だよ、来年度上級生がもめては下級生はついて来ないよ。いいかね？

E　そうなら可愛想だよ第一、授業料は同じでだヨ、しかも高いのを払ってヨ。

H　それで、どうにでもなれといったら、これは人権じゃないんだヨ。（一同苦笑）

A　しかし学校側でゆうように力の差が大きいとしたら、そういう差のあるものに一律に授業をするとしたらそれこそ人権じゃないかね、と角つうりんじゃないかね。

B　学校側では能力別はそれぐらいに考えてゆうない者は気の毒だよ。

F　しっかりしなけりゃ、部室はみんな鎖になるぞ。

C　それは、石桜新聞になにか。批評するのは。

E　石桜新聞の伝統かもしれないが、小さい版ではな。

G　ウン厩もそいつを考えてるヨ

I　ウンそりゃそうだが、遠慮なくシャベルベェ。

D　では率直に、もう企画が古くなったな。トップも大体企画が同じようだヨ。

A　今度54号だろう、同じようになるのは致し方がないだろうが、なるべくは変化がないようにいるのかナ

E　そうなら可愛想だよ第一、授業料は同じでだヨ、しかも大きい版にしたらどうだろう。

F　ウンそれはないが、まとまりがなくなるだろう。小さい版だとナ、一面はニュース、二面は文化関係、特集とか三面はスポーツ、四面は文芸とまとまるだろう。

C　それに企画が古いというけれど、彼（E）がいった通り企画上で決まってしまうと、しかたなく古くなるんだナ。

I　そりゃわかるけど、一般に記事が古いよ。

F　そりゃ学校新聞の連命だヨ。テレビの『事件記者』みたいなのも陳腐だからナ。

A　どうだ新鮮味を起こさないか（一同笑）

C　デモ学校の事件というと……あまりよくないヨ……。

D　……ゾウタ発行回数を多くしたら生徒も読新を高めるよ。

F　発行回数を多くすると二ニュースが足りなくなるし、なにしろ先に立つものはコレ（人差し指で円を作る）だろう（一同爆笑）

I　デモ予算は別だろう。あの石桜会ヨ。

C　ウン、しかしあまり金はかけられないしナ。

F　確かだ。いくら石桜会とは離して金を貰えるといっても、十万も百万もかけられないしナ。

B　金より、ニュースが新鮮味にあふれ、企画もアッというものを作ったら……。

A　今になってみると、進学する者が全体の八十%もあるんだから、ある程度予備校化してもらいたかったナア。

一同　エス、エス。

B　絶対必要だヨ、ナア諸君。

一同　そのとおり。

F　放課後の課外講習はあまり利用されなかったじゃないか。

C　大体ナア、学校はどうだたはっきりしないモンナ。一兎を追ってるんだ。

G　なんだな、一般的傾向からもしれないけれど質は落ちて来たと思うヨ。

F　ウン、確かだな。どうだろう落第点を引き上げるのは。

H　中・高とも七十点が合格としたらどうだろう。

先生も勉強を
高校校旗を設けよ

司会　では能力別はそれぐらいにして……この間スケート部、剣道部員室が閉鎖されたということですが。

A　そいつは初耳だな。

C　いや、きいてるぞ。

E　聞くさかったというが、犯人は第一番じゃないかい。閉鎖とはちょっとひどいな。

G　もちろん官選も悪いと思うけど……それじゃ部活動が出来なくなるナ。

F　しっかりしなけりゃ、部室はみんな鎖になるぞ。

A　一時間を何とかすこせば給料がもらえると考えている人はなかろうか。

E　なきにしもあらずかな。

一同（爆笑）

B　一般にこの学校にくると、考えが違ってくるんじゃないのかい。

C　いわゆる岩手高先生スタイルだ。（沼田君退席）

D　それでも全部が全部というわけでないでしょう。

J　そりゃそうさ、そうだったら大変ダチャ。

B　できるだけ差別感を与えないような方法を学校側でも考えてもらいたいな。

B　学校では警告の意味もあるのかナ。

J　みんな優等生になればこんなばからしい組分けはなくなるさ。

B　要は打算に長けるとだよ、まあせいぜい勉強していクラスに入った方が得だな。

C　ロクに勉強もしないで自尊心が傷つけられるなどというのもどうかしてると思うがな。

B　毎日毎日が予習、復習で終ってしまうのは、何となくもったいない様な気がする。これからは試験等の結果、わかっている事だ）勉強の手段に対している事が勉強に対して、高向な態度を取り曲げ値意をもつことがこの"無"をなくする一つであると思う。諸君"勉強"に対する事を丹念に考えてみる事が大切であると思わないか。（高一・H生）

こだま
生徒よ学問に目を向けよ

毎日毎日が予習、復習で終ってしまうのは、何となくもったいない様な気がする。これからは試験等の結果、わかっている事だ）勉強の手段に対している事が勉強に対して、高向な態度を取り曲げ値意をもつことがこの"無"をなくする一つであると思う。諸君"勉強"に対する事を丹念に考えてみる事が大切であると思わないか。（高一・H生）

学校側に望む

単刀直入に書きます。学校側に望みたい事を連記します。

その一　先日岩手日報社が掲載した記事によると、本校は新学期から授業料が六二百円値上る事になっているが、月額千七百円は大きな負担である。生徒が学校の経営に出しするのは却角違いであるが、せめて値上げ必要理由を説明して欲しいと思います。

その二　学校の塀がずっと前から壊れている。真にみっともない。

塀がこわれていればつい合理主義（？）がはたらいてそのこわれた所から出入りすることになる。正門からの出入りが正しいと知りつつも……。

以上二つの点を上げて学校側の答を望みます。

（高一・N生）

若い人達のために作られた
腕時計、それは

セイコースポーツマン　十五石ダイヤショック付　三、二〇〇円
シチズンデラックス　パラショック付　十九石　五、一五〇円

ラジオ、新聞で広告の時計は何でも揃っております。

時計のデパート
道又時計店
大通り三丁目
電話　五二二三　一四一六

メガネは正しく
かけましょう

水晶堂眼鏡店
本府　盛岡市中の橋通り
支店　盛岡市大通り映画街
売店　盛岡ステーションデパート

カメラとD.P.E
村井カメラ材料店
盛岡市十三日町　TEL　6569

学生協指定店
カメラ月販チェーン
カメラ8ミリシネ
大通文化堂
盛岡市大通　（TEL 9716）

国体氷上

ホッケーに準優勝

本校の主力メンバーで

ウィンタースポーツのシーズンを飾る第九回県下高校スケート競技大会ならびに第十五回国体県選考会は、一月十日盛岡市高松の池リンクで開催された。その日はリンクコンディションが良く、スピード、アイスホッケーに華々しい成績を展開した。次いで二月一十一日から四日間、長野県松本市美鈴湖で第二十五回国体冬季大会が行なわれ、本校からスピードには高一の藤原正紀、アイスホッケーには盛岡一高とのピックアップによって十二名の大量の選手を送った。アイスホッケーの方はクジ運にも恵まれ、第一戦京都、二戦愛知などと、トントン拍子に勝ち進み、いよいよ国民冬季大会最後の決勝戦に臨んだ。決勝戦は優勝候補の北海道と終始激戦を演じ、8対1と破れ涙をのんだ。

県下高校スケート競技大会ならびに第十五回国体県選考会が、一月十日午前九時から盛岡市高松の池リンクにおいて開催された。

スピードの部は、午前九時から競技が開始され、午前の部で高一レベルが県のレベルに到達して、来年は優勝する可能性は充分ある。次に我が校出場選手のスピード競技の記録。

▽五百㍍（セパレート）
❷藤原　正紀　50秒5
❹篠村　光宏　52秒5
⑪佐藤　三郎　57秒5

▽千五㍍（セパレート）
❶藤原　正紀　2分41秒6
❺根守　光広　2分45秒5
⑫篠村　光宏　3分48秒8

▽五千㍍（セパレート）
❸鬼柳　隆男　9分28秒4（大会新）
❻菅原　紀繁　9分35秒6
⑫根守　光広　10分27秒3

▽一万㍍（オープンタイム）
❼鬼柳　隆男　19分23秒0（大会新）
❾菅原　紀繁　19分23秒7（大会新）
⑯斎藤　和助　20分22秒0

▽二千㍍リレー
❷（篠村、菅原、根守、藤原）3分31秒7

〔写真は県下高校アイスホッケー大会我が校のFW盛一のゴールにせまる〕

↖この藤原が五百に一位、千五百に一位、篠村が五百に四位、鬼柳が五千に三位（大会新）等と一年生の選手がめざましい活躍を展した。

しかし午後から気温が上がり、氷の上に水が上って、競技不可能となり、一万㍍、二千㍍、リレーが午後三時半から行なわれる状態して七位（大会新）等と一年生の

↗鬼柳がスタートから上位陣につきながら、二十二周目に疲労の色が見えはじめ、転倒したのは総合得点に響いた。しかし最後まで健闘し、七位（大会新）を立てたことは賞讃される。結果は、我が校の

〔総合得点〕
❸本　校　43点

一方、この日高松の池上の特設リンクでは、先輩応援団、約百名の声援の中に対盛岡一高とのアイスホッケーの試合が行なわれた。我が校は桐生主将を中心に藤原、飯塚と呼吸が一体となって、迫力のファイトを燃えしばしば一高陣のゴールにせまって、第一ピリオド一点、第二ピリオド、第三ピリオド各々二点づつ得点を入れ、宿敵盛岡一高を破った。

全国高校選手権

ホッケー準決勝で敗退

次いで一月十五～十八日までの四日間は、全国高校選手権大会が長野県茅野市鬱科湖リンクで行なわれ、十五日は午後から開会式、十六日には競技が開始され、一回戦はBリンクで北海の熊といわれる釧路工業高校と対戦、昨年度の北海道のインターハイでは敗れているので、選手一同はファイトを燃して試合に臨んだが、相手が欠場して不戦勝となった。一回戦はこれもまた盛岡で行なわれた時、7対1と敗れていたので、精神面技術の作戦を練り、第一ピリオド0対0、第二ピリオド1対1、第三ピリオド1対1、遂に延長戦に入って、どちらか一方が得点を入れた方が勝ちとなるので一層ファイトを燃して、試合開始して十分上山がシュートして準決勝に進んだ。

それからも我が校は、三十分の休息をとった後、直ぐ準決勝戦となったので、釧路湖陵校は疲労が見え出し、充分な実力を出し得ず9対1と敗戦した。もし充分な休息を我が校に与えられていたなら釧路湖陵に勝っていたんではなかろうか。

トラックではセパレート、オープンのスピード競技、フィギャーと各種目にわたり熱戦が繰り拡げられたが、全国的にレベルが向上しており、我が校は苦戦を演じ、来年は一層の精進を祈る。

＝ホッケー概評＝

日野岳　浩

インターハイの場合は、釧路工業との対戦であったが、相手が出場していれば、勝運がなかったかも知れないが、欠場のため、不戦勝となった。二回戦は愛知と対戦したが、愛知の練習を見ていると凹凸合いに脚力がないに単独プレーがきゃ様に見えた。これなら大丈夫勝てるという自信を持った。

試合になると選手は張り切り相手の単独プレーをうしながらパスを使い得点と延長戦になったが最後まで試合をすてず、必勝の信念燃えて戦った事は、今までになかった試合ぶりであった。

国体の場合は、盛岡一高の補強五人がよく頑張ってくれた。愛知戦の時は、シーソーゲームになったが、前に勝っている自信がありスピード選手達も真剣に応援してくれ、油断なく試合を運んだことが、勝利となる。対京都戦は惨勝した。NHKのマイクが据えつけられ、審判団が見ている。氷がよく手入れされてあり、万人注目のうちに試合開始、何か厳粛なものがあった。最初は同等に試合を運んでいったが、脚力の弱さ、試合運びのうまさに敗れ、然し岩手のプレーは、真面目そのものであり一位北海道、栃木は差があるが、二、三位の差が同じになったことそれに一位との差を幾分なりにしても、縮め様とする努力が認められる事は、将来はすべて五格な勝負を、やってもらう希望もえたとの総評であったが、岩手高校としても、学問的意欲を持って、同時にスポーツも益々盛んに、学校の発展を願いたい。

（本校ホッケー部長）

〔写真は県下高校スケートスピード1万メートル予選の4コーナーでの激戦〕

高校選手権成績

▽ホッケー
◎一回戦
本　校（金権）釧路一高
本　校 3（0…1、0…0、延長 1…0）2 愛知高
◎準決勝
釧路湖陵 9（4…0、1…0、4…1）1 本　校
◎三位決定戦
作新学院 11（4…1、6…1、1…0）2 本　校
国体成績
▽ホッケー（高校の部）
◎一回戦
岩手 7（2…0、3…1、2…0）1 京都
◎二回戦
岩手 5（1…0、2…2、2…2）4 愛知
◎決勝戦
北海道 8（1…0、2…0、5…1）1 岩手

国体

さて、冬のシーズンの最後を飾る第二十五回国体冬季大会スケート競技会は、二十一日長野県松本市で二十一日から四日間美鈴湖で開かれた。

スピード競技には高一の藤原ただ一人参加し健闘した。ホッケーは高校選手権大会で自信をつけ、盛岡一高とのピックアップチーム

＝盛岡市内中学校スケート大会＝

みごと総合優勝

著しいレベルの向上

中体連など主催の第九回盛岡市内中学校スケート競技大会は、快晴に恵まれた一月二十四日午前九時から同市上田高松池リンクで開かれ、三年生の部員がいないのにもかかわらず、他校を振り切って優勝を成しとげたことは我が中学校に取って喜ばしいことである。来年も練習を重ね、上位進出、新記録は勿論のこと我々の夢でもあった銀級制覇を成しとげてもらいたいものである。

記録は

◇五百メートル
▽一年
❶長瀬正志　1分09秒2
▽二年
❶小野寺和夫　1分01秒8
◇千五百メートル
❶佐藤直孝　3分41秒4
▽二年
❶鈴木総　3分31秒8
◇三千メートル
▽一年
❶佐藤直孝　7分54秒0

総合点
❶岩手49　❷河南41　❸上田38

〔写真は市内中学校スケート大会三千メートル競技の奮闘の模様〕

スキー大会（県下県民）

第九回県下高校スキー大会は、一月二十二、二十四日までの二日間、田山スキー場で行なわれた。

第一日、十時から田山公民館において開会式、十二時より大回転が行なわれた。

第二日目、九時より長距離十五㌔十一時より回転が行なわれた。

最終日、この日は小雪のままずのコンコンションで行なわれた期待のリレーで、我が校は、矢羽々織田、狭野、大竹のメンバーで出場したが会員健闘し、六位に入賞この結果、五年ぶりに総合七位に入賞することが出来た。

▽記録
○大回転
❶矢羽々　⑱島原　⑰田村　㉔井川　㉗成島
○長距離十五㌔
（33）矢羽々　（52）大竹　（57）織田　（58）狭原
○回転
❸田村　㉗井川　㉘成島
○リレー
❻岩手（矢羽々、織田、狭原、大竹）

第一回県民スキー大会は、一月二十九、三月一日の四日間、花巻鉛の両温泉スキー場で行なわれた

第一日花巻温泉公民館で十時より開会式、続いて女子リレー。

第二日、十時より鉛温泉スキー場で大回転、花巻温泉スキー場で長距離が行なわれた。続いて第三日目、鉛温泉スキー場で回転が行なわれた。最終日は十時から花巻温泉でリレーが行なわれ、矢羽々織田、狭野、大竹のベストメンバーで出場、全員実力を発揮、堂々第四位に入賞した。

今年も三年生は一人もいないがよくまとまり、来年も同じメンバーで大会に臨めるので、大いに期待される。

▽記録
○大回転
❶矢羽々　⑱井川　⑱田村
○長距離十五㌔
（37）大竹　（54）織田　（53）狭野
○回転
❷矢羽々　⑱田村　⑰井川
○リレー
❹岩手（矢羽々、織田、狭野、大竹）

学生カバン・小型ボストン
造って売る店
盛田カバン店
当店お買上品は無料修理
盛岡大通り　T三三八

D・P・E
岩淵カメラ店
モリオカザイモク町
TEL　七一六三

御入学、御進学おめでとう
お祝記念品には是非
パイロットスーパー
万年筆を
茅町赤沢号支店
TEL　2733

1日～7日
シネマスコープ総天然色
空前のスケールで描く超大作！
ヘラクレスの逆襲
千古の謎を秘めるアマゾンへの冒険！
総天然色
秘境の情熱

8日～14日
不朽の名作小説の映画化！
総天然色
カチューシャ物語
トルストイの『復活』
ボルショイバレエ団
白鳥の湖
国劇

作文

愛情

高一　菊池　義男

思うに人生は、愛情で始まり愛情で終ると言っても言い過ぎではない。『時代は人間を作る』僕は昭和に生まれた（十八年）昭和の人間である。愛情についての考えは時代によって左右されるものではない。愛情は、動物植物の世界にも存在している。人間の世界は勿論の事。高い山の上、深い海の底にも存在する。戦争、戦争中にもあった。事実、ナイチンゲールの例がある。しかし、我々身近に感じる愛情には、親愛（家族愛）、友愛等がある。それらについて僕の考えを述べてみよう。

親愛はふかくするとわすれがち、と言うよりも時によって感じないものである。（コノ、親不幸モノ）我々戦争当時に生まれた者は、小さくてそれがわからなかった。しかし今では小説、映画等で教えてくれるので良くわかってきた。しかし、戦争を起したのは大人である。

次に友愛である。友愛と言うものは、今我々が一番良く知る事が出来る時である。これから得るものは大きい。親、先生よりも話しやすいのが親友である。自分の痛い所をつかれても『ナニクソ』と思ってはいけない。やはりこれも友達の愛情である。深く考えるべきである。

この世の中で、愛情の貴重さをどの位考えているだろうか。少しも分らないだろう。事実、僕もこの文を書く迄特別考えた事は少なかった。愛情で人間世界を征服する事はむずかしい（不可能に近い）が、これが出来るとどんなにすばらしいだろう。これは直接平和につながる。これが人生の一つの課題である。これを完全になした人が本当の聖人である。孔子はすでにこの事を言っているではないか『人を愛せよ』『恕（思いやり）だ』（仁）と。

無題

高二　瀬川剛二郎

『身体の調子は大変良好です。ただ、死刑の宣告を待っている人々ながら、勉強しているんだろうよっやっと大学に入り、ようやっと大学をでて懸命に就職運動をしたら自己の人生に満足する事はない。それなら自分でこのような人生をおくったらいいだろう。しかし僕には出来ないに違いない。

つまらなくなったら死んでしまえばよい。このような人生をおくったらいいだろう。しかし僕には出来ないに違いない。

大募集

高一の新聞部員を
若干名募集いたします

希望の方は新聞部委員室
または新聞部員まで

春、春、春が来た
この川はどこから流れ出し
どこまで流れ続くだろう
雪がとけた冷めたい水、
そしてすんだ清い水
だが下流に行くとにごっちゃう
川はそんな運命だ

ようやっと入社し、そして上役の気嫌をとり、いずれ結婚して子供の為にせっせと働く、今の人間の人生はこれで終りになるであろう。もちろん、兄の人生もこうなるであろう。なぜこれだけの人生なのに必死になって勉強しているんであろうか。なぜ素直に自己に満足した人生をおくろうとしないのだろうか。いかに人類、あるいは社会に貢献したところでいずれは、何もなくなってしまうにちがいない。それなら思いのままに生活したら楽しであろう。女の人と遊びたいときは遊び、酒がうまいと思ったら飲み、それで生きることが

俳句

高一　松尾　悦夫

新年の今宵に見ゆる雪景色

中一　佐々木　一

朝おきて窓をあけたら雪景色
中津川春のおとずれつげている
荷車にいなはなみうち家急ぐ
黄金の波うちよせる田ぼ道
春浅く庭の青菜もちらほらと
もちつきに見とれて落すよだれかな
先生にしかられて舌を出す
雪いや、光る雲
そしてぼくの顔
ガラスのようにすみきった
目の中にまるで
もう一つの世界があるようだ

詩

中一　藤根弘康

子犬の目

子犬の目の中は
映画のスクリーンのように
小さなかわいらしい目の中に
なんでも美しくうつる。
雪いや、光る雲
そしてぼくの顔
ガラスのようにすみきった
目の中にまるで
もう一つの世界があるようだ

朝モヤ　高一　福士慎二

朝早く起きると
昨日からの雨もやみ
あたり一面乳色のモヤが
まくを下している
雪もいつしか少く
黒土が見え始め
ふきのとうが緑の芽を出し
柳の芽を見れば
ふっくらとふくらみ
もう寒気のきびしいない
春がもうそこまで
来ている

ある会合で

高二　吉田公一

音楽がなり出す
女は舞る
男はじっと見ている
男はじっと見ている
曲は終る
女達は言う
『男の人は教えて上げますよ
再び曲がなり出す
とたんに笑う
皆が笑う
笑う笑う皆が笑う
でも皆は舞る
楽しい楽しい
フォークダンスを
男も女も舞る
舞る舞る
皆な舞る
丸く円になって
楽しく舞る

真夜中

高二　菊池　勝蔵

真夜中の二時
誰もいないこの大通り
歩く、歩く、俺は歩く
月光が俺を照す
俺一人を
まるで世界中で俺一人だけしか
人間がいないようなこの街を
俺一人だけが歩く
角を曲る
月が雲にかくれた
突如暗くなった
と、路地から
黒い影が掴われた
ドッキン!!
俺の心臓の音だ
その人影が去っても鳴っている
俺は恐ろしくなった
俺は走った、走った
後をふり返えらないで
一生懸命走った
その時、月がその明かるい
顔を出した

短歌

高一　佐藤　正俊

春の日にちらりほらりと梅の花
ほたん花咲雪の夜にかりそめに
底の端より咲き誇るかな
うぐいすの初音に胸がときめき
心がさわぐ春のよいかな

高一　高橋　邦明

氷雨降る底の鄙を食むすずめら
は今日は何処の銀食みにけむ
山道をスキーかつぎし行く我に
春の匂を木の芽よこせり

生徒習作集

高二　福田　稔

巧者有餘拙者

高二　小笠原　克夫

若葉つまる信濃路

高二　泉沢　敏雄

風景ですね。山脈をバックに大い煙突のある家がある。その家の木なんかナカナカいいですよね。

高二　八重樫　洋介

本校の正面校舎を描いたもの。時計が描かれていないのは残念ですが、非常に細かく、そっくりそのままですね。

中二、新聞を製作

きれいで立派な新聞

中学二年生が古川先生指導の下に新聞を作った。これは教科書の単元にあるもので、それにもとずいて作ったもの。当新聞部としてはうれしいことです。

甲組

▽若柳
記事が豊富で組みもよいですが見出しをもうすこし大きく書くともっとよい。（トップが弱い）

▽友情
ハラ切りになっていて、すこし字が細かいです。

▽わかば
きれいに書かれているが、オールハラ切りではいけない。

▽陸奥
記事が二つしかなく空白が多くてすこし物足りない。

▽いわざくら
『多いチコク』、この見出しがよい。が、ハラ切りになっている見出しが皆右側にかたよって、見ぐるしくなっている。

▽朝霧
ハラ切りでなくてはいけない。

▽白銀
見出しが大きく書いて、空白をうめるのがよい。

▽不来方
『一年生について』の記事はあまりイタダケナイ。つまり中三にいわせると中一もそういうようだとね。

乙組

▽ぬじゃなぎ
ハラ切り（新聞紙面で縦一本で半分にすること）になっている。行をそろえてきれいに書くとよいです。

▽青空
記事はまとまりがよく、きれいに書いているがハラ切りはダメ。空白の所を、文章でうめるとよい。

▽白雲
トップ記事はいいですね。漫画はハンパではイケナイ。

▽友情
記事の選択はよいです。でも誤字が多くありますから注意して下さい。

▽友情
記事の選択はよいですよ。

〔写真は甲、乙両組の新聞〕

断言

値上々々と値上るが、値上らないのは気ばかり、ヨイヨイ。

火の無い所に煙は立たぬ。というが、思わぬ所より煙が立った。我々としても目量せよ。

大学合格者本校第一号、当新聞部より出る。これも勤勉のたまものですね。ウップップップッ…。

編集後記

大変長い間、発行しないでいましたが、このたびようやっと第五十四号を発行しました。冬休み前に二部発行する事になっていたんですが何やかんやとせがしく、つい忘れてしまいまして、すみません。今回の発行も『石桜』誌と一緒に編集いたし、雑誌か新聞かどっちがどっちの記事だかわからないほど入り混って部員もお手上げの状態でした。それに部員数が足りないので、記事の取材にも苦労しました。夜は十二時頃まで学校に居て仕事し、その頃には部員も三、四人。家に帰ると大低一時二時。この時こそ、新聞部なんてバカくさいなあと、思うことはない。しかしそうして苦労して製作した新聞が出来上がるとうれしいものです。

さてこの前の新聞は日報の新聞コンクールにはあまり良くない成績でしたが、今年こそ全力を尽くして入賞して石桜新聞をもっともっと充実した新聞にいたします。部員一同もガンバリますから生徒の皆さまも応援して下さい。

大東映の素晴3月番組
3月2日～9日まで
総天然色　錦之助快心の長脇差おろし
同時　南国大平記
弥太郎笠　上映　薩摩の狼火
前売券発売中　¥110円（当日150円）

東映が数々二年余に亘る盛岡大ロケーションを敢行した名画
東映スコープ　遂に完成！
大いなる旅路
3月9日東京同時公開決定
御期待下さい

優秀なD・P・E
カメラ材料・各種記念写真とアルバム作製
加藤コロタイプ店
写真材料部
本店　盛岡市肴町　TEL 3261
支店　盛岡市茅町　TEL 7457

新学期のノートの御用意は……
盛岡市材木町
木津屋文具店
TEL 2240

御好評のプラチナ・オネストをどうぞ……
中屋万年筆店
彫刻サービス致します
盛岡市　大通り
TEL 4762